2

5

8

## 6. 南魚沼市の将来像と 2030 年度削減目標達成に向けた基本方針

#### 6-1. 2050 年度の将来像

本市は2050年度のカーボンニュートラルの実現を目指します。 カーボンニュートラルが実現した本市では、「脱炭素の取組」「循環型社会の実現」「環 境活動への取組」の3つの視点で以下の将来像の実現を目指します。

## 将来像 1 地域特性を踏まえた脱炭素の取組が最適に行われるまち (脱炭素の取組)

- 特別豪雪地帯という地域特性を踏まえた、気密性、断熱性の高い住宅が普及しています。
- 太陽光発電や水力発電、地中熱、雪氷熱などの再エネが最大限に導入されています。
- 市民、事業者、行政機関等の日常生活や事業活動などの様々な場面において省エネ化の 取組が行われています。

## 将来像 2 自然環境が整備され、限りある資源の有効活用に取り組むまち (循環型社会の実現)

- 3R が徹底され、資源が有効活用され、廃棄物の発生が抑制されています。
- 森林資源については、保全やエネルギーとしての活用が進んでいます。

## 将来像 3 市民、事業者、行政機関等のあらゆる主体が環境活動に取り組むまち (環境活動への取組)

■ 市民、事業者、行政機関等のあらゆる主体が環境学習やカーボンクレジットの発行などの様々な環境活動に取り組み、より環境負荷の少ないライフスタイルを実現しています。

#### 6-2. 2030 年度削減目標

本計画では、計画期間の 2030 年度における、温室効果ガス削減目標を脱炭素シナリオに基づいて「2013 年度比 50%削減 (165.1 千 t-CO<sub>2</sub>)」とします。

## 2030 年度 温室効果ガス削減目標

2013 年度比 50%削減 (165.1 千 t-CO<sub>2</sub>)

5

### 6-3. 2030 年度削減目標達成に向けた基本方針

脱炭素シナリオに基づいて 2050 年度の将来像を実現するためには、2030 年の削減目 標の達成が必要になります。このため現状における課題を踏まえた3つの基本方針を設 定します。本計画では、この基本方針に基づいて施策を展開し、2050年度の将来像の実 現につなげていきます。

## 2050 年度の将来像の実現

## 2030 年度の削減目標の達成

#### 地域特性を踏まえた省エネルギー化、再生可能エネルギー導入の推進 基本方針 1

本市の地域特性を踏まえた省エネ対策と再エネ導入の施策を展開、周知していきま す。

# 基本方針 循環型社会の推進と森林の保全、整備 基本方針 2

限りある資源を有効活用するために、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の 推進や森林の整備などの施策を展開していきます。

#### 環境意識醸成、行動変容 基本方針3

市民、事業者、行政機関等のあらゆる主体が環境意識の醸成を図り、行動変容につ なげていくための施策を展開していきます。

### 課題 1 温室効果ガス排出状況について

■ 各部門・分野での温室効果ガス排出量削減に向けた課題

#### 課題 2 再生可能エネルギーの導入について

- 太陽光発電や水力発電の導入に関する課題
- 地中熱や雪氷熱の利用に関する課題

#### 課題 3 アンケート調査結果について

#### ■ 市民の課題

- 具体的な行動への結び付け(環境意識の醸成)
- 3Rの推進

現状におけ

る課

- ・省エネ家電の買換えや再エネ設備の導入の支援
- ・森林資源の保全と活用の推進
- 事業者の課題
- ・省エネ・再エネ設備導入によるコスト削減効果の周知
- ・省エネ・再エネ設備導入を支援する施策
- 市民と事業者に共通する課題
- ・実施、導入している割合の低い省エネ化や再エネの取組及び設備等の普及
- ・雪国における太陽光発電設備についての適切な情報の周知
- ・太陽光発電設備の導入事例についての周知
- ・省エネ・再エネ設備などの導入に関する国、県の補助制度の周知